

栗山川浄化啓発作品 児童生徒の気持と願いが切々と

栗山川浄化啓発応募作品の審査がこのほど行われ、入賞者に賞状及び記念品が贈られました。

これは、栗山川汚染防止対策協議会が栗山川周辺市町村の小中学生から同川の浄化啓発の作品を募集することにより、汚染防止の意識を高めていこうと行ったもので今年で18回目を迎えました。

応募数は、9市町村36校から作文・標語・ポスター合わせて558点あり、どの作品も栗山川浄化に関心の高さを表すもので、ふるさとの川を愛する気持ちと願いが多く表現されていました。

入賞作品は、栗山川の汚染防止の啓もう等に活用していく予定です。

各部門の当町の入賞者は次のみなさんです。

◎作文の部 —敬称略—

- 最優秀 伊藤 由実 (上堺小6年)
- 優秀 土屋 裕一 (横芝中1年)
- 優良 田村 和子 (横芝小6年)

◎標語の部

- 優良 藤井 一孝 (横芝小5年)
- 土屋 実徳 (横芝中2年)

◎ポスターの部

- 優良 渡辺 千春 (横芝小6年)
- 石山 瞳 (横芝中1年)



守ろう栗山川

上堺小六年 伊藤由実

私達の町を流れる栗山川は、全長約四十キロメートルで、県下第二位の河川です。

昭和五十二年の正月より、栗山川への鮭の稚魚の放流が始まったそうです。

私達も、昨年の三月に鮭の放流をしました。あの小さな鮭の稚魚が太平洋に流れ、遠く北洋の海へ旅立ち、数年後に大きく

なって、この栗山川に帰ってくるのです。

最初の放流から四年後に、二十五尾が銀色に輝く雄姿で帰って来たことが、テレビのニュースで全国的に報道されたこと、本に書いてありました。そして、帰って来る鮭の数は年々増えているそうです。

栗山川がゴミや油で汚れてしまったら、鮭はふるさとの川の水を忘れてしまい、帰って来れなくなってしまうのです。

栗山川の鮭が帰って来ること、私達の町のほこりです。いつまでも鮭が帰って来られるよう、栗山川をきれいにすることが、私達の勤めだと思えます。

各家庭の台所から流れ出る排水の中には、洗剤や油がたぐさ

ん混ざっています。

私は、ときどき栗山川にお父さんとお母さんに行きますが、ところどころの大きなパイプから、大量の排水が流れて泡がいっぱいあり、その回りは色が変わったどろです。それがヘドロだと、お父さんから聞きました。その川に住んでいる魚を食べようと、は思えないので、釣ってもすぐに川に逃がしています。

川をよごさないようにするには、油を流さないで固めて生ゴミと一緒に出ししたり、洗剤は害のないものを使ったり、洗剤なしでもきれいに洗える毛糸で編んだタワシを使うことにより、栗山川の環境を守る事ができると思えます。

私の家でも、毛糸でタワシを

平成9年度で廃止になります 生ごみ処理容器設置補助制度

町では、生ごみの減量化・再資源化等を図る目的で、一般家庭を対象に、生ごみ処理容器(コンポスト)を設置された方に補助金を交付してきました。事業も浸透し、普及されましたので、この制度を平成9年度(3月31日)をもって廃止することになりました。

今後も、清潔な町づくりにご協力をお願いいたします。

環境影響評価準備会 縦覧と住民説明会

千葉県では、銚子連絡道路(松尾町〜光町間)の建設を計画しています。

環境影響評価の実施に関する指導要綱に基づいて、環境への影響について調査、予測した環境影響評価準備書が提出されたので縦覧します。

この準備書について、関係地域内に住所を有する方は、公害の防止や自然環境の保全の見地から知事に対して意見を提出することができます。

なお、準備書の縦覧場所や関係地域の区域等は、次のとおりです。

◎関係地域の区域

横芝町両国新田及び姥山・遠山・長倉・木戸台・取立・寺方・曾根合・坂田・於幾・古川・横芝の一部並びに松尾町及び光町の一部

◎縦覧場所 県環境部環境調査課、町環境衛生課、松尾町住民課及び光町保健衛生課

◎縦覧期間・時間 2月17日(火) 3月19日(木) (土・日曜日を除く) 午前9時〜午後5時

◎意見書の提出期間・提出先 2月17日(火)〜4月3日(金) 県環境部環境調査課(〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1)

◎住民説明会の日時・会場 2月28日(土)午後1時30分松尾町洗心館、3月1日(日)午後10時光町町民会館、3月1日(日)午後1時30分横芝町文化会館

※詳しくは、県環境部環境調整課(☎043-223-4138)へ。

そして、いつまでも栗山川に鮭が帰ってくることを願います。

編んで使っています。お皿の油汚れ、湯のみの茶シブ、コップのくもりも洗剤で落ちにくい汚れがすっきり落ちてピカピカになります。

栗山川には、いろいろなゴミや空缶が浮いています。

「自分だけはいいや」と思わず、ひとりひとり気がつけたいと思います。

私達のちょっとした心がけが、栗山川の汚れを防ぎ、そこに住む魚たちを守ることだと思えます。